4教科で考えよう　町の天気　②

小5〜小6／1つの表を、4教科の目で読み分ける（4問）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ある町の1週間の天気の表を見て、【1】〜【4】に答えよう。
表のどの数や言葉を使うかは、教科ごとにちがうよ。
えらぶ問題は、記号を□に書こう。
計算は、計算メモに式を書こう。

曜日	天気	最高気温	最低気温	雨の量	ようす
月	晴れ	25℃	12℃	0mm	1日じゅう、日がさした
火	くもり	22℃	18℃	0mm	うすい雲が広がった
水	？	26℃	13℃	0mm	雨はふらず、日がさす時間が長かった
木	雨	19℃	17℃	96mm	台風が近づき、はげしい雨がふった
金	くもり	23℃	18℃	3mm	夕方、急に雨がふり、30分でやんだ
土	晴れ	26℃	13℃	0mm	風が弱い1日だった
日	晴れ	27℃	14℃	0mm	1日じゅう、日がさした

【1】 理科

水曜日の天気が、よごれて見えません。
表の気温の数と「ようす」を、ほかの日の天気とくらべて、
水曜日の天気を考えて、記号を書きましょう。

ア　くもり　　イ　雨　　ウ　晴れ

こたえ □

【2】 社会

木曜日のように台風が近づいて大雨になりそうなとき、
警報や注意報を出して知らせる国の機関はどれですか。

ア　気象庁　　イ　消防署　　ウ　市役所

こたえ □

【3】 算数

月曜日から日曜日までの、最高気温の平均は何℃ですか。

計算メモ

答え □ ℃

【4】 国語

金曜日の「ようす」のように、急にふりだして、
すぐにやむ雨を何といいますか。

ア　小雨　　イ　にわか雨　　ウ　長雨

こたえ □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「教科横断問題プリント」のプリント一覧がひらきます

4教科で考えよう　町の天気　②【こたえ】

小5〜小6／1つの表を、4教科の目で読み分ける（4問）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

【1】

理科

こたえ　ウ　晴れ

晴れの日は、朝と夕方は気温が低く、昼すぎに高くなるので、1日の気温の差が大きい。
くもりや雨の日は、差が小さい。水曜日の差は26−13=13（℃）で、
同じ13℃の差の月・土・日は晴れだから、水曜日も晴れ。雨の量も0mmで、雨ではない。
「ようす」の「日がさす時間が長かった」も、日がさした月・日と同じ。雲が広がった火曜日とはちがう。
1日の差（最高−最低）：月13・火4・水13・木2・金5・土13・日13（℃）

【2】

社会

こたえ　ア　気象庁

気象庁は、台風や大雨などの気象の情報を集めて、警報・注意報で注意をよびかける国の機関。
消防署は火事や救急の仕事、市役所は市のくらしの仕事をする所。

【3】

算数

答え　24　℃

（25+22+26+19+23+26+27）÷7=168÷7=24（℃）。
7日ぶんの最高気温を全部たして、日数の7でわる。

【4】

国語

こたえ　イ　にわか雨

急にふりだして、すぐにやむ雨を「にわか雨」という。
小雨は弱い雨、長雨は長くつづく雨のこと。

採点の目安（おうちの方へ）

【1】は、水曜日の最高26℃・最低13℃の差が13℃で、晴れの月・土・日と同じ。ようすも「日がさす時間が長かった」で、日がさした月・日と同じ。記号はウ（晴れ）。
【3】式が書いていなくても、答えが24℃なら○。合計168℃を7でわる考え方でもよい。
【2】【4】は記号で答える。ことばで書いてあっても、選んだ内容が合っていれば○。
表の数字は、この紙のために作った例（作例）です。実際の記録ではありません。

このプリントのねらい（おうちの方へ）

表1枚を、理科（晴れの日は気温の差が大きい）・社会（気象庁）・算数（平均）・国語（にわか雨）の4つの目で読み分ける1枚です。
つまずきやすいのは、表の数字を「計算するもの」と決めつけること。【1】は最高−最低の差（水曜日は13℃）を比べます。
解けないときは「この問いは、何の教科で習ったことを使うかな？」と、ラベルを指さして聞いてあげてください。